

田村市指定有形民俗文化財

あかしじんじゃ さんがく
明石神社の算額



時代 明治11(1878)年

寸法 たて 95cm

よこ 270cm

奉納者 橋本新四郎、渡辺木市、完戸朝一、安藤木与太郎
本田半之丞、伊東千治、柏原長寵、新田丑蔵
白土磐根、今泉久世、助川順平

田村市船引町堀越字明石地内に所在する明石神社に奉納された算額です。
奉納者11人は最上流和算家 佐久間庸軒の門人で、中でも伊東千治(石森村・
現 田村市船引町石森)は当時10歳3か月でした。

※算額に記された問8とその現代的解法を下記に

《問8》

今有不知学校来人数、午前為一併三十五人宛、則余六人、又午後为一併四十八人宛、
則余一十五人、惣人数幾許成哉。

答、惣人数一百一十一人、

術曰、午後余人員内減午前余人員、余名完、午前人員、名左、午後人員名右、依剩
一術得左一十一段、乗完口右去之、乗午前人員、加午前余人員、得惣人員、合問。

下大越村 新田丑蔵撰

《現代的解法》

午前X組、午後Y組とする

$$35X + 6 = 48Y + 15$$

$$X = 48Y + 9 / 35 \quad X \text{は整数より} \quad Y = 2 \quad X = 3 \quad \text{総数 } 35 \times 3 + 6 = 111$$